一般質問
円谷　寛議員

○高齢者運転リスク
「デマンド交通の検討を」

○スマートＩＣ
「時間と車両制限の撤廃を」

質問　高齢者運転は危険と言われているが、交通手段がないためリスクを伴い運転している。デマンド交通等タクシー業者と協議を進めるべきではないか。

総務課長　新たな公共交通を含め検討する。

質問　介護保険料、国保税抑制のため、スポーツ施設を活用した健康増進を図るべきではないか。

健康福祉課長　かがみいしスポーツクラブや生涯学習関係団体と連携を図り、町民の元気づくりに努めたい。

健康づくりにプール

質問　温水プールは収容能力からすると、利用者が少ないので、メタボ対策にプールの利用券を発行するなどの施策を講ずるべきではないか。

健康福祉課長　プール指定管理者及び所管課と協議検討し、健康づくりに向けた利用法を検討する。

町民プールの利活用で健康づくり

墓地公園建設を

質問　町内の墓地は余地が少なく、皆苦労している。墓地公園の建設を検討すべき時期にきているのではないか。

町長　町内には13箇所の墓地がある。平成15年にはこのうちの一つが拡張した。今後は状況の推移をみながら貴重なご意見としたい。

質問　鏡石スマートインターチェンジの利用時間制限撤廃の目安は、1日利用台数が1千台以上となります。震災による無料化期間はその基準として勘案されませんので、今後利用台数の増加策及び利用車両の拡充策を検討する。

質問　中学校武道必修化については何を取り入れるのか。また、その安全面の確保はどう考えているのか。

教育長　中学1・2年生は武道必修化となっており、鏡石中学校では柔道を選択した。安全面確保については大外刈り等の技の一部制限を行う。

◀スマートＩＣの制限撤廃を

一般質問
古川文雄議員

○鳥見山公園の瓦礫処分
「その見通しはいつごろか」

○子育て支援充実で町のＰＲ

○原発事故対策
「風評被害の実態は」

質問　放射能除染作業で発生した廃棄物の仮置場はどうなっているか。

総務課長　国で設置する中間貯蔵施設に搬入するまで各市町村で一時保管する。町でも仮置場の候補地を選定している。

質問　鳥見山公園は観光資源ともいえる公園だが、駐車場にある瓦礫処分の見通しは立っているか。

健康福祉課長　国のマスタープランでは平成26年3月までに終了することを目標にしている。町でもそのように努力する。

質問　町独自の子育て支援策には、どのようなものがあるか。

健康福祉課長　母親の育児不安等には、保健師による赤ちゃん訪問や乳幼児健診を実施している。児童館では幼児期における家庭教育のために、「すくすくクラブ」等を開催している。また、子どもの医療費について、中学3年生まで医療費助成を行っている。

質問　生活の利便性や子育て環境が良好であれば、町のＰＲ力が増す。乳幼児教育・幼保一元化の取組はどうなっているか。

町長　幼保一元化については、町内にも認定こども園が開所して、待機児童の解消が図られた。今後、国の動向を見守りながら検討する。

質問　中学校武道必修化について
①実施種目と年間何時間実施されるのか。
②武道は継続して行われるか。
③指導教員はどの程度の経験を有しているのか。

教育長　①柔道指導経験豊かな保健体育科の教師が多いため「柔道」を選択した。時間数は年間、男子10時間、女子8時間
②1、2年生は柔道で3年生は球技となる。
③指導教師は他校での指導経験があり、武道指導研修会等へも参加している。

質問　原発事故の影響について
①風評被害による所得への影響はどの程度か。
②固定資産税評価額への影響はどの程度か。
③農産物風評被害の実態はどうか。
④今年の水稲作付・転作の方針はどうなっているか。

税務町民課長　①確定申告完了後、町県民税賦課時期の6月中旬に推計できる。
②宅地鑑定評価は不時沼、本町、中央等では下落率が13・5％となる。固定資産税では対前年比10％減となる見込み。

産業課長　③青果物については風評被害額で10億4千万円請求され、約5億4千万円が支払われた。
④作付面積目標配分率は57・69％とした。転作は、ほ場条件に合ったものを選定したい。

質問　震災復旧工事について、工事の発注順序はどうしているのか。また、工事の取組状況について広報しているのか。

都市建設課長　発注は主要な町道、通行止め等の被災状況によって作成した発注計画に基づき発注している。また、復旧工事は多くの被害箇所に対して施工業者が限られ、建設機械や資材等が不足しているため明確な広報が難しい状況である。

子育て支援で町のＰＲ力アップ